

## 行政改革のさらなる推進 行政改革は、職員の レベルアップから

行政改革の原動力となるのは市職員の力であり、さまざまな方法で人材育成や研修の充実を図ることが、行政サービスの質の向上に結び付くものと考えております。その一環として、職員の社会教育主事などの資格取得を推進します。

また、顧客志向による対人サービスや企画運営など、民間のノウハウを学び、経営型成果主義の事業運営への転換を図るため、民間企業への派遣研修を行うほか、引き続き、省庁への派遣も行ってまいります。

## 危機管理体制の充実 南海トラフ巨大地震の被害想定を 盛り込んだ防災計画を策定

自主防災組織、自治会の皆さま方に参加いただき、昨年度までは図上訓練であった避難所開設訓練を、実際の避難所となる小学校で、避難所開設方法や避難生活物品の使用法、炊き出しなどを体験する実地訓練として実施いたします。

また、地震の揺れ・津波・洪水など複数のハザードマップを見直し、総合防災マップとして一つの冊子にまとめ、市民皆さまの各世帯に配布するなど、防災意識の向上に努めているところでございます。

平成 26 年度は、本市の防災対策の基本方針を示す地域防災計画について、国や大阪府より公表された南海トラフ巨大地震の被害想定など最新の知見や情勢を踏まえた改訂を行い、防災対策の総合的な推進を図ってまいります。

## 市立病院の充実と改革 子どもと女性に優しい病院めざし 出産 2 回目以降は費用割引へ

365 日 24 時間体制で新生児の緊急入院に対応できる地域周産期母子医療センターの強味を生かし、「子どもと女性に優しい病院」を目指すとともに、若い世代の方々の定住促進という観点から、市立病院での出産が 2 回目以降の方については、出産費用の一部を割引く制度を創設し、利用者の拡大を図ってまいります。



市立病院と地域周産期母子医療センター



## テクスピア大阪を拠点とした地域産業振興の推進 商工会議所と連携し地域産業振興の推進を

平成 26 年度も引き続き、施設内の改造による貸室の増床など、安定した収益の確保に努めてまいりたいと考えております。収益の安定は、将来の施設利用料の低減を目指すものであり、市民サービスの向上、企業経費の節減につながるものであります。

また、会議所も当該収益を起業支援などの商工業の活性化に充てることですので、連携して地域産業振興の推進を図ってまいります。

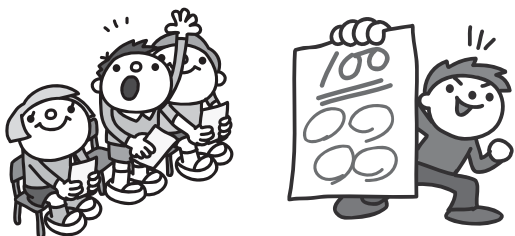
## 財政状況の改善 効率的な行財政運営を

本年 4 月からは、新たに策定した第 2 次泉大津市経営指針に基づき、歳出の抑制、歳入の確保など効率的な行財政運営に取り組んでまいります。

また、赤字を抱える会計につきましては、実質赤字や資金不足のさらなる改善に努めてまいります。

## 学習環境の整備、特色ある教育の推進、就学前教育の充実 旭小の増改築に着手 小学校の空調整備へ

旭小学校につきましては、平成 26 年度から校舎の建て替えと体育館の改修がいよいよ本格的な着手となり、安全で快適な教育環境の確保を図り、地域コミュニティの拠点となるような、地域に開かれた学校を目指してまいります。



未整備となっておりました小学校の空調設備は、平成 26 年度中に整備完了を目指し、子どもたちの快適な学習環境をさらに充実させてまいります。

就学前教育と小学校教育との連続性、および教育内容の体系化を目指し大学および専門機関と連携し、保育士と幼稚園、小学校の教員が合同で小学校教育につながる指導方法の研究と、体系化したプログラムの開発を行ってまいります。

また、小学校低～中学年での学習内容の到達度を把握し、結果を分析・考察することで、学力向上の手立てを示すとともに、学習でのつまずきに対する支援をしてまいります。

# 平成 26 年度 泉大津市 施政方針

平成 26 年度における市長の市政運営に対する基本的な考え方や、主要な施策について、抜粋してお知らせします。全文は市ホームページをご覧ください。 問合せ 企画調整課（市役所 4 階）

「夢や理想を市民の皆さまと共有」  
「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」これは、幕末の思想家、教育者として知られる吉田松陰の格言とされています。これを私なりに、市政の運営にあてはめて解釈いたしますと、本市の将来像を描き、その夢に向かって理想を語り、理想を実現するために計画を立て、その計画を実行することが夢の実現につながる、そのためには将来への夢を持たなければならぬ、そこで、まず、この夢や理想を、市民の皆さまと共有してまいりたいと考えております。

「市民の皆さまとともに」  
現在、10 年後の泉大津市の姿を描く、第 4 次泉大津市総合計画の策定を進めております。総合計画とは、地方自治体における総合的かつ計画的な行政運営を図るための方針でありまして、本市における最上位の計画です。このたびの総合計画の策定方針は、従来までの総合計画とは大きく様相が異なり、市民の直接的な参加が特徴です。これにより、泉大津市の将来像を市民の皆さまと共有するため、策定過程において、市民の皆さまに夢や理想を語っていただき、さらに、完成のあかつきには、その実現にむけて、市民の皆さまと共に手を取り、力を合わせて実行してまいりたいと考えております。

## 「重点的に」取り組む分野 ～泉大津市が目指す方向性～

### 心がかようまちづくり 「セーフコミュニティ」認証めざし 人のつながりを実感できるまちへ

平成 26 年度から、「セーフコミュニティ」国際認証の取得に取り組んでまいります。

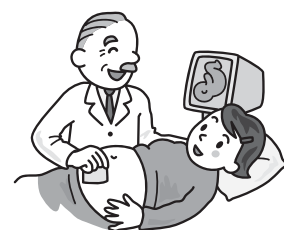
セーフコミュニティ活動とは、事故やケガなどは偶然に起こるものではなく、原因分析のうえ、対策をとれば予防できるという理念のもと、予防に重点を置いた科学的な分析を行い、市民、関係機関、行政など分野を越えた連携や協働により、安心で安全なまちづくり活動を行っていくものです。

この活動によって、人と人とのつながりや連帯感、支え合う意識が芽生え、その結果、地域コミュニティが活性化し、さらには再構築がなされるとともに、不測の災害時の支え合いにも結び付いていくものと考えております。

### 子育て支援の充実 妊婦健診受診の助成回数を増加 子ども医療費助成の対象年齢を拡大

妊婦の健康診査については、現在の追加受診券による助成を拡充することにより、定期受診の促進を図ります。子ども医療助成については、通院にかかる医療費助成の対象学年を、これまでの小学 2 年生までから、小学 3 年生までに引き上げます。

本年 4 月には、「泉大津市立くすのき認定こども園」が開園いたします。これに合わせ、楠幼稚園の耐震化事業に着手し、また、「(仮称) 泉大津市立かみじょう認定こども園」の開設に向け、施設を改修し、準備を進めてまいります。





いずみおおつを国際基準の安心・安全なまちに！

## 「セーフコミュニティ国際認証」の取得をめざします！

世界保健機関（WHO）のセーフコミュニティ協働センターが推奨するセーフコミュニティの認証を受けるための活動が続けると、外傷や事故が起きにくい、安心・安全なまちの実現に近づきます。本市は、この認証取得を目指した事業を展開していきます。

けがや事故を  
「みんなで」防ぐ  
まちをつくりましょう！



本市は、安心・安全なまちづくりを実現するため、4月より世界保健機関（WHO）のセーフコミュニティ協働センターが推奨するセーフコミュニティ活動に取り組みます。2年後の認証取得をめざします。

この取り組みは、事故やけがは偶然に起こるのではなく、予防できるという理念のもと、行政や医療機関、警察はもちろん、地域で活動されている団体や市民の皆さんが一緒になって取り組む、いわば「オール泉大津」で安全で安心して暮らすことができるまちづくりを進めるものです。

▽セーフコミュニティのあゆみ

WHOが「世界中すべての人々が健康であることは、平和と安全を達成するための基礎である」という考えのもと、日々の生活において「安全」が健康に大きな影響を与えることに着目したのがセーフコミュニティの始まりです。

1970年代にスウェーデンの小さなまちで「けがや事故は偶然に起こるものではなく、予防できる」という考えに基づいた活動を始めたのをきっかけ

に、こうした活動を広めるため、WHOがセーフコミュニティ協働センターを設立しました。

▽セーフコミュニティのひろがり

平成元年に、発祥地のスウェーデンで最初のコミュニティが認証を受け、今では世界で約300の団体が認証を受けています。平成21年には京都府亀岡市が日本で初めて認証を受け、日本国内では現在13市町がこの活動に取り組んでいます。

▽セーフコミュニティの活動内容

本市ではすでに各分野で安心安全に関する取り組みが活発に行われています。例えば高齢者の筋力アップのための「いきいき百歳体操」、市民の皆さんの手で子どもを守る「子ども110番のいえ」や「子ども・地域安全見守り隊活動」、地域を災害から守る「自主防災組織活動」などは、セーフコミュニティ活動につながります。このような活動を生かしながら、次の7つの認証基準を満たすことにより、質の高い安全を実現していきます。

▽認証に必要な7つの基準

- ①分野横断的な協働と連携に基づいた推進体制
- ②すべての性別、年齢、環境状況を把握する長期的、持続的な予防活動をしていること
- ③子どもや高齢者など、被害に遭いやすい弱者のための予防活動の実施
- ④入手可能な根拠に基づいた予防活動の実施
- ⑤傷害の頻度と原因を記録する仕組みがあること
- ⑥予防活動の効果・影響を測定・評価する仕組みがあること
- ⑦国内外のネットワークへ継続的に参加していること

▽セーフコミュニティに期待する効果

この活動を通じて、次のような効果が期待できます。

**外傷や事故が減ります**

セーフコミュニティに取り組んでいる地域では実際に効果が表れています。先進地であるスウェーデンなどでは、外傷や事故が30%も減少したと報告されています。

**市のイメージアップ**

心の通う安心安全なまちづくりが進み、市のイメージアップ

が図られます。

**地域コミュニティの再生**

みんなで安心安全なまちづくりを進めることにより、人々との信頼と絆を回復し、お互いに信頼し合える地域コミュニティの再生が図れます。

**医療費などの削減**

事故や外傷の減少により、医療費や介護費用の削減が期待できます。

**セーフコミュニティ職員研修会を実施しました**

2月6日にセーフコミュニティの理解を深めるため、日本セーフコミュニティ推進機構の白石陽子代表理事をお招きし、幹部職員への研修会を実施し、職員と活発な意見交換がなされました。



職員研修会の様子

問合せ 危機管理課（市役所4階）

「住みたい、住み続けたいまち・いずみおおつ」をめざしてまいります。

## 26年度に実施する主な事業



### 全国に「いずみおおつ」をPR！ シティプロモーション事業

「泉大津プロモーション協会」を中心に、「ナンバーワンフェスタ」事業や「夏フェスあります」事業などを行うほか、キャラバン隊を編成し、全国各地で開催されているイベント会場に直接出向き、毛布製品等のPRや販売を行うなど、特産品を主軸としたシティプロモーション事業を行ってまいります。



### 人と人とのつながりの大切さ再認識 「地域コミュニティ」の活性化

市民活動団体や市職員を対象としたセミナー・研修会を開催し、地域コミュニティの役割や重要性の再認識、地域づくりに関する知見を深めてまいります。また、NPO法人などの地域活動団体の活動拠点として「市民活動支援センター」を開設してまいります。



### 市民の健康づくりに一役 特定健診が無料に！

国民健康保険事業では、特定健康診査の自己負担金を無料化し、より受診しやすい環境づくりに努め、被保険者の健康保持、増進に努めてまいります。



### 地域・民間事業者と協力し 高齢者の見守り活動強化

高齢者に対する施策としましては、住民相互の見守りに加え、庁内関係部局ならびに地域の民間事業者との連携を図り、高齢者の見守り活動を推進するほか、集いの場となる老人集会所の整備や、徘徊SOSネットワークを強化してまいります。



### 水道・下水道施設を耐震化

将来予想される巨大地震に備えるため、本市の基幹施設である「中央配水場くらしの水センター」配水池の未耐震施設の耐震化を図ってまいります。また、約40年が経過した汐見ポンプ場の雨水ポンプについて長寿命化計画を策定し、平成26年度より5年をかけて、ポンプおよびエンジンの更新やポンプ棟の耐震化工事も進めてまいります。



### 幼小中一貫した 英語学習の推進

幼・小・中一貫した英会話の体験や英語学習および国際理解教育については、幼稚園、小・中学校へのALT（英語指導助手）派遣事業を実施し、英語でのコミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進を図ってまいります。



### 第4次 総合計画策定

現在策定中の「第4次泉大津市総合計画」につきまして、審議会への諮問やパブリックコメントの実施など、引き続き、策定に向けた取り組みを行ってまいります。



### 住宅リフォーム費用を一部助成します

住宅リフォームを行う市民に対して、当該工事費の一部を助成する制度を新たに創設し、定住促進と耐震改修の促進に取り組んでまいります。

※詳細は下の記事をご参照ください



### 「港湾トップセールス」

泉大津港などの港湾地区の振興につきましては、私みずからが先頭に立ち、本市港湾をアピールする「港湾トップセールス」を行ってまいります。

快適に住み続けられる、  
安全・安心な住まいづくりを応援

## 住宅リフォームに 助成金



**助成対象者** 市内に住宅を所有し、居住していること（住宅の所有者が市税を滞納していないこと）  
**助成対象住宅** 個人住宅、併用住宅または共同住宅で住宅リフォーム工事を行う、または耐震改修と併用して住宅リフォーム工事を行うこと  
**助成対象工事** ▷住宅リフォーム工事費用が20万円以上 ▷本市の他の制度による助成などを受けていない工事  
**助成金額** 工事費用の10分の1に相当する額（上限10万円）。耐震改修併用の場合は費用の10分の2に相当する額（上限20万円）  
**問合せ** まちづくり政策課





▷子ども医療費助成／こども未来課／おもしろサイエンスショー



文化薫るまち、いずみおおつ。「泉大津市文化フォーラム」

## でんじろう先生プロデュース！ おもしろサイエンスショー

テレビでおなじみのでんじろう先生がプロデュースする「おもしろサイエンスショー」を開催。科学の不思議さ、楽しさを遊びながら体験できます。参加希望者は下の要領でご応募ください。入場無料。南海電鉄後援。問合 秘書広報課（市役所4階）

### 平成26年度文化フォーラム日程／講師のメッセージ

#### ●6月15日 日「ここが見える言葉～テレビと言葉」

川田裕美さん（読売テレビアナウンサー、泉大津市出身）

テレビを見ていて、「あれ？ 今、何て言ったのかな。何のことだったのかな」とひっかかった経験はありませんか？ そんなときは決まって、わからなかった言葉が気になってしまい、その後の内容が頭に入ってこなくなってしまうものです。ほんの一言のせいで、大切な部分が伝わらなくなる。そういったことがないように、私たちアナウンサーは一言一句に気を配ります。人の印象を左右し、ここを映す「ことば」について、一緒に考えませんか？

#### ●7月13日 日「国循にまなぶ食からの循環器病予防～か

るしお事業について～」村井一人氏（国立循環器病研究セ

ンター臨床栄養部 栄養管理室長）

「退院しても、ここの病院食を食べたい」。患者さんからの要望で作った料理本「国循の美味しい！ かるしおレシピ」は昨年ベストセラーになり、続編も発行しました。患者に出された食事を基にした献立は、大阪や東京の百貨店で弁当として発売になり、社員食堂や医療・福祉機関でも採用されています。京料理の考え方をもとに、見た目とおいしさ、栄養内容を兼ね備えた国循食を循環器病予防に役立てる取り組みをご紹介します。

#### ●10月19日 日 講演&講談「黒田官兵衛の生き方～秀吉

が恐れた軍師」4代目旭堂南陵氏（講談師、大阪芸術大学

客員教授、学術博士）

黒田官兵衛は、竹中半兵衛と共に秀吉を支えた軍師。秀吉は天下を取ったときに、側近の者に「俺が天下を取らなかったら、誰が取る」と聞いたそうである。側近はいろいろな武将の名を出したが、秀吉の答えは「官兵衛よ」であった。信長、秀吉、家康と、戦国の英雄の間を渡り歩いた男の生き方は、人々に感銘を与える。同時に彼は、部下に切腹を命じたことのない、慈悲の心も持つキリシタン大名であった。彼の出自から最期までをお話します。

#### ●11月24日 祝「古代の和泉国～国境の緊張と交流」

栄原永遠男氏（大阪市立大学名誉教授、東大寺史研究所長）

和泉国の古代史を考える場合、隣国の紀伊国の存在を無視することはできない。紀伊には紀氏という大きな勢力が存在していた。紀氏と大和政権とは、対立したり連携したりする微妙な関係にあった。紀氏は和泉地方に勢力を拡大してくるが、大和政権は、これに対して日根野に「県（あがた）」という直轄地を置いて紀氏に備えた。紀氏と大和政権の間の地域として和泉国を見た場合、どのような和泉国の古代史が見えてくるのか、考えたい。

#### ●1月25日 日「倭国誕生～前方後円墳のなぞを探る」

松木武彦氏（岡山大学教授、考古学）

大規模な墳丘に棺・槨（かく）を設けて長を葬るという慣習は、中国中原から楽浪や朝鮮半島を経由して、2世紀中ごろにまず出雲や吉備で受け入れられた。古墳の起源である。これがさらに近畿に伝わり、3世紀中ごろには「前方後円墳」として大和政権の倭王を祭る記念物となった。古墳の完成である。起源から完成までの百年間は、中国史書に照らしてみれば、倭国王帥升（すいしょう）から倭国乱を経て親魏倭王・卑弥呼につながる政治的過程と重なる。この間の古墳のあり方の変化を詳しくたどることによって、帥升から卑弥呼に至る「倭国誕生」のプロセスを復元してみたい。



応募方法 往復はがきに参加者の氏名、郵便番号、住所、電話

締切 4月18日（金）必着  
結果通知 応募者多数の場合、



ジャイアン村上先生

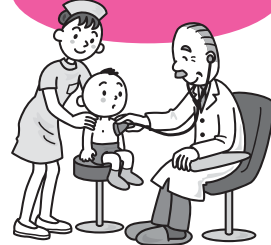
サイエンスショー参加者募集！  
日時 5月11日（日）午後2時～3時30分（午後1時開場）  
会場 テクスピア大阪  
募集人員 500人（泉大津市民を優先します）。なお、3歳未満は保護者のひざの上。小学生3年生以下は保護者同伴。  
出演（講師）ジャイアン村上先生（米村でんじろうサイエンスプロダクション）

番号、年齢（学年）を記入のうえ、〒595-8686（住所記載不要） 泉大津市役所秘書広報課 サイエンスショー係へ。はがき1枚につき5人まで応募できます。複数人で参加希望の場合は、必ず参加者全員の氏名、住所、年齢（学年）をお書きください。なお、返信用にも申込者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。

抽選で参加者を決定し、申込者に通知します。  
講師紹介  
ひょうきんなキャラクターと身軽な体をはった実験で子どもに大人気のサイエンスコメディアン。本名は村上渡（わたる）。北海道出身。東京理科大学卒。

多くのサイエンスショーや実験教室、テレビ番組などの講師を務めています。  
講師からのメッセージ  
でんじろう先生の開発したワフワドキドキ、あつと驚く科学実験ショーです。「学べるだけでなく楽しい。楽しいだけでなく学べる」プログラムがいっぱい。幼児からご年配の人まで、ご家族そろって体験していただけます！ ※でんじろう先生は出演しません。

7月1日から



## 子ども医療費助成の 対象年齢を拡大します！

小学3年生の通院費も助成対象に！

子育て支援の充実を図るため、「子ども医療費助成制度」の対象年齢が7月1日から拡大されます。小学3年生の通院に関して、7月1日以降の診療から新たに対象となります。

NEW!

### ■ 7月1日から子ども医療費助成制度

	平成26年6月30日まで	平成26年7月1日から
入院・通院ともに対象となる人	小学2年生修了まで（8歳に達した日以後最初の3月31日まで。所得制限なし） <b>医療証あり</b>	小学3年生修了まで（9歳に達した日以後最初の3月31日まで。所得制限なし） <b>医療証あり</b>
入院のみ対象となる人	小学3年生から6年生修了まで（12歳に達した日以後最初の3月31日まで） <b>医療証なし</b>	小学4年生から6年生修了まで（12歳に達した日以後最初の3月31日まで） <b>医療証なし</b>
自己負担額	入通院とも1医療機関につき1日500円まで（月2日間限度） ※小学3年生から6年生の入院については償還払い	入通院とも1医療機関につき1日500円まで（月2日間限度） ※小学4年生から6年生の入院については償還払い

※償還払い…利用者が医療費を医療機関に一旦支払い、その後市の窓口へ還付申請を行って費用の一部の払い戻しを受けること。



問合 こども未来課 子育て給付係（市役所1階3番窓口）

※生活保護受給世帯・他の公費医療（ひとり親医療、障がい者医療など）を受給中の場合は申請の必要がないので通知は郵送しません。

▽0歳～小学2年生の人（すでに医療証を持っている人）：6月下旬に医療証、更新申請書を郵送します。

※小学4年生から小学6年生の方：引き続き入院（食事療養費含む）のみの助成対象となります。なお、償還払いとなるため、医療証は発行されませんので医療証発行の手続きはありません。

▽小学3年生の人（新たに対象となる人）：5月に申請書を郵送します。申請があった人に対し、6月下旬に医療証を郵送します。

「医療証発行の手続き」  
通院対象となる小学3年生までの人に医療証が発行されます。

### 幼稚園、保育所や各種手当など、子どもに関する業務を一本化！

## 児童福祉課から→こども未来課 に変わります

「児童福祉課」が平成26年4月から「こども未来課」に変わります。

子ども・子育て支援新制度のスタートに向け、就学前の子どもに対し、質の高い幼児期の教育・保育および地域子ども子育て支援業務を行うため、組織の一本化を図ります。

今までの「児童福祉課」の保育所や認定こども園、児童手当・子ども医療証・ひとり親家庭の手続きなどの業務に加え、「指導課・教育総務課」の幼稚園に関する業務を1階窓口「こども未来課」（旧児童福祉課）で行います。

問合 こども未来課（市役所1階3番窓口）